



地域のイベント会場としても使用される道路空間となった



車道と歩道の段差にも配慮している



街路灯の柱にベンチを設けて休息スポットを整備

DATA・BOARD ⑪

- ① 東京都江戸川区平井2～4丁目
- ② 延長：650m，幅員：8～15m
- ③ JR 総武線平井駅南口前
- ④ 平井水上ステーション，平井運動公園，小松川運動公園，小松川千本桜，大島・小松川公園ほか
- ⑤ 小松川・平井ふるさとまつり，青年カーニバル



# 11 平井駅通りふれあい道路



これまでの平井駅前通りは、狭小な幅員の中に路線バスや一般車両、歩行者、自転車、自転車が輻輳し、安全性に課題のあった道路だった。こうした状況の中、平井駅通り周辺では新しいまちづくりの一環として、その中心となる都市計画道路の整備事業が進められた。

この事業を契機に、地元商店街と江戸川区が勉強会を組織し、地域全体のまちづくりや平井駅通りの整備計画について検討を重ねられ、地域住民のふれあいの場となる歩行者中心の道路として「平井駅通りふれあい道路」の整備が行われた。

整備にあたっては、生活動線として最も重要な役割である歩行者環境の充実をめざし、街路灯の柱にシンプルなベンチを併設したほか、限られたスペースを有効に活用する休息場所を設けている。道路景観についても地域の中心軸としてふさわしいものとするため、電線類を地中化するとともに、街並みとの調和を図ったカラー舗装を施した。また、歩道の巻き込み部分などでは、歩道と車道の段差をなくす段差ゼロブロックを採用しており、車椅子やベビーカーの利用者にも配慮した、やさしい道づくりを行っている。

完成後は、安全で快適な道路環境が形成されており、イベントの開催場所としても利用され、地域コミュニティの活性化にもつながっている。